

来月は、2年吉田茉央さんの主張を掲載します。

「相談する勇気」 別保中学校3年 佐藤銀次

釧路町大会最優秀賞/町代表として釧路地区大会参加 優良賞

毎日使っている何気ない言葉、言葉には色々な意味があります。優しい言葉は人の気持ちを優しくしてくれます。逆にひどい言葉はその人やまわりの人に嫌な気持ちを与えてしまいます。僕は、自分自身を含め、まわりのみんなが学校や家で楽しく毎日仲良く生活をしてほしいのです。

テレビやインターネットで、いじめのニュースが多く取りあげられています。いじめと言っても種類がたくさんあります。

例えば、暴力を振るういじめ、強要するいじめ、言葉のいじめ、無視するいじめなどがあります。

ぼくが気になったのは言葉のいじめでした。

中学生が言葉によって嫌な思いをしたり、深い傷を負って自殺してしまったというニュースを見ました。僕はこの時、自分はどうだろうと思いました。今まで自分の言った言葉は大丈夫だっただろうか。知らないうちに傷つけたりしていたかもしれないと。

考えてみると、すぐ思い出したことがありました。毎朝、薬を飲んでいる僕に母親が毎日「薬飲んだ?」と聞いてきます。ある朝、僕はイライラしていたのか「うるさい」と言ったことがありました。僕の身体を心配して言ってくれた母親に対して申し訳ない気持ちになりましたがその時はすぐに謝ることができませんでした。このように心にモヤモヤが残る状態になるので僕はこれから自分の言葉に気をつけようと思います。

パワハラやセクハラなどの精神的あるいは身体的にいわゆる「いじめ」を受け、大人が自殺をしてしまったと言うニュースを見ました。僕はこれを見た時も凄く悲しくなりました。ただでさえ今はコロナ禍の影響もあり社会が苦しい状況と言うのに、なぜこんなにも大事な人々を自殺に追いやってしまったのかと考えると僕は悲しみと怒りの気持ちが込み上がってきました。

なぜ、だれかに、苦しい気持ちを話すことができなかったのでしょう。

もし、だれかに話をしていたらきっと変わっていたと思います。

僕は改めて人に相談をすることがいかに大事かを思い知らされました。僕は人から容姿で バカにされることが多く、時々学校に行くのが怖くなりました。しかし、そこで助けてくれ たのが両親や先生方でした。バカにされた経緯を話すと親はすぐに学校に連絡をしてくれま した。 その日の夜、学校で両親、クラス担当の先生、生徒指導の先生を含め相談をしました。先生 方も真摯に向き合ってくれ、その翌日からすべて変わっていきました。僕は初めて相談する 勇気を振り絞った甲斐があったと思いました。

僕は両親や先生に話したこともあり、気持ちが凄く落ち着きました。このように今、他の学校や社会でも僕と同じようにいじめが起きているかもしれません。学校ではいじめをしても退学又は厳しく注意をされるだけで済みますが、社会ではそれが通じません。きっとそれは社会に出ている人であればわかっていると思います。しかし、それもわからない人がいるので、きっといじめがなくならないんだと僕は思います。

いくつかいじめの対策法はあると思いますが、僕は子供、大人関係なく、人に相談をすることがとても大切だと思います。

そのためには、どうしても相談する勇気が必要です。

確かに相談してもいじめがなくなるわけがないという人もいると思います。そうであったとしても、相談窓口、大人ならカウンセリングを受けると、いじめの解決に繋がる方法が必ず見つかると思うのです。

近年、中高生の自殺も段々と多くなってきています。大半は誰にも相談ができず自殺をしてしまった人が多いそうです。

僕はこれ以上誰も自殺なんてさせたくないし、いじめもなくなりみんなが明るく、悩みが 解決できるような学校や社会にしていきたいです。

最後にいじめは本当によくないです。いじめなんてあってはならないと心から強く思える 社会にしていきます。

~生活リズムの結果です~

7月2日からの I 週間で、「生活リズムチェックシート」を使用して、生活状況の記録を行いました。その結果をお知らせします。

《生活リズムについて》

大部分の生徒は、一定のリズムで生活しています。睡眠時間も7~8時間と、しっかりとれている生徒が多い結果でした。ただし、極端な生活リズム(夜型)の生徒が少しずつ現れています。

《家庭学習について》

各学年とも家庭学習の提出率は高く、家庭学習の時間が確保されている生徒が多い結果でした。チャレンジノートとして、 委員会活動での点検項目としている点も、提出率の高さにつながっていると思われます。家庭学習については、内容の向 上を期待します。

《メディアの時間(テレビ、ゲーム、スマホ等ついて》

メディアの時間については、全学年2時間程度になっています。小学校で取り組んでいる「我が家の E ルール」が定着していると思われます。この状況を継続するため、中学校でも声かけをしていきます。

《餌食について》

朝食を毎日食べている生徒が減少してきています。食育、家庭科の授業、学級活動等で、朝食の大切さを伝えていきます。

【これからに向けて】

よりよい生活習慣を確立するために関係する委員会活動、生徒会の取り組み、保護者への協力・依頼を今後も継続していきます。ご家庭でのご協力の程、よろしくお願いします。